



2026年6月1日

各位

会社名 株式会社MUSCAT GROUP
代表者名 代表取締役 大久保 遼
(コード: 195A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森岡 祐平
(TEL. 03-6684-2373)

個別決算における関係会社株式評価損の計上及び
(訂正・数値データ訂正)「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期の個別決算において、下記のとおり関係会社株式評価損を計上することを決定し、これに伴い、2026年5月14日に発表した「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正を行うことといたしましたのでお知らせいたします。

また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 関係会社株式評価損について

当社は「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(以下、「決算短信」といいます。)を2026年5月14日に開示いたしましたが、その後、会社法計算書類等に係る監査手続きの過程において、当社が保有する株式会社WinC及び株式会社ライスカレープラスの株式の評価に関する会計処理を監査法人と再協議いたしました。その結果、両社の実質価額が帳簿価額に対して著しく下落しているとの判断に基づき、個別決算において関係会社株式評価損として計794,151千円を特別損失に計上することといたしました。

対象項目	関係会社株式評価損計上額
株式会社WinC株式	557,999千円
株式会社ライスカレープラス株式	236,152千円
合計	794,151千円

2. 決算短信の訂正

上記特別損失の計上に伴い、当社の個別決算における当期純利益、純資産、総資産および1株当たり情報等が訂正となりますので、これらをベースとした決算短信の数値、表記等について訂正を行います。さらに、監査法人による有価証券報告書等に係る監査手続きの過程において、決算短信の連結キャッシュ・フロー計算書について誤りを指摘されたため、訂正を行います。詳細は以下をご参照ください。なお、訂正箇所には下線を付しております。

サマリー 1 頁目

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（訂正前）

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	<u>△673</u>	<u>△629</u>	1,305	689
2025年3月期	<u>△407</u>	<u>△966</u>	1,305	543

（訂正後）

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	<u>△676</u>	<u>△484</u>	1,305	689
2025年3月期	<u>△407</u>	<u>△966</u>	1,305	543

サマリー 3 頁目

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（訂正前）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	853	△51.0	36	—	92	786.9	592	—
2025年3月期	1,741	△13.1	△38	—	10	△92.7	32	△81.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	<u>195.31</u>		<u>185.73</u>					
2025年3月期	11.19		10.75					

（訂正後）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	853	△51.0	36	—	92	786.9	<u>△201</u>	—
2025年3月期	1,741	△13.1	△38	—	10	△92.7	32	△81.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	<u>△66.37</u>		—					
2025年3月期	11.19		10.75					

（訂正前）

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	<u>5,708</u>	<u>2,058</u>	36.0	<u>601.87</u>
2025年3月期	3,308	1,175	35.5	395.58

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,057百万円 2025年3月期 1,174百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

持株会社体制への移行に伴う組織再編等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

(訂正後)

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,914	1,264	25.7	369.56
2025年3月期	3,308	1,175	35.5	395.58

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,263百万円 2025年3月期 1,174百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

持株会社体制への移行に伴う組織再編等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。また、当事業年度において、当社が保有する関係会社株式について、監査法人と慎重に協議した結果、実質価額を反映した関係会社株式評価損794,151千円を特別損失として計上いたしました。

添付資料 4 頁目

1. 経営成績等の概況

(訂正前)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ145,619千円増加(新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額142,582千円含む)し、689,619千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、673,627千円の支出(前連結会計年度は407,972千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失87,340千円の計上、減損損失304,589千円の計上、のれん償却額161,719千円の計上、関係会社株式売却益710,492千円の計上、売上債権の31,319千円の減少、仕入債務の207,015千円の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、629,334千円の支出(前連結会計年度は966,248千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が409,428千円の計上、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入1,007,086千円の計上があった一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,239,963千円の計上、貸付けによる支出446,522千円の計上、投資有価証券の取得による支出243,773千円の計上があったこと等によるものであります。

(訂正後)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ145,619千円増加し、689,619千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、676,351千円の支出(前連結会計年度は407,972千円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失87,340千円の計上、減損損失304,589千円の計上、のれん償却額161,719千円の計上、関係会社株式売却益710,492千円の計上、売上債権の31,319千円の減少、仕入債務の207,015千円の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、484,028千円の支出(前連結会計年度は966,248千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入が409,428千円の計上、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入1,007,086千円の計上があった一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,237,239千円の計上、貸付けによる支出446,522千円の計上、投資有価証券の取得による支出243,773千円の計上があったこと等によるものであります。

(訂正前)

該当事項はありません。

(訂正後)

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループにおきましては、営業活動によるキャッシュ・フローが、前連結会計年度が407,972千円のマイナス、及び当連結会計年度が676,351千円のマイナスと、2期連続でマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況に対し、当社グループでは、既存ブランドの市場シェア拡大やM&A後のPMIを通じた事業の収益性改善、並びに持株会社である当社のグループ本社機能の効率化によるコスト削減を通じて、営業キャッシュ・フローの創出に取り組んでまいります。

また、当社グループでは、M&A戦略の遂行に必要な財務基盤を強化するため、継続的に資金調達活動を行っております。当連結会計年度におきましても、第三者割当による新株式の発行及び取引金融機関からの借入等により、合計1,453,791千円の資金を調達しております。翌連結会計年度におきましても、資金調達活動を通じて必要となる資金の調達の目途が立っております。

これらに加え、必要に応じて、保有有価証券の売却、取引金融機関との継続的な交渉を通じた追加融資、外部投資家からの追加出資等の手段による外部資金調達の実施も検討することとしております。

当社といたしましては、当連結会計年度末における現金及び預金は689,619千円と、前連結会計年度末比145,619千円増加しており、当面の事業活動に必要な資金は十分に確保できる状況にあること、更にこれらの対応策を実施することにより、当該事象又は状況を解消し、又は改善することが可能であり、現時点において継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(訂正前)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	115,419	△87,340
減価償却費	24,846	50,996
減損損失	-	304,589
事業撤退損	-	26,390
のれん償却額	53,678	161,719
繰延資産償却額	5,383	7,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△331	1,403
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,669	△8,885
受取利息及び受取配当金	△3,451	△6,022
支払利息	21,474	56,280
為替差損益 (△は益)	△101	-
保険解約返戻金	△40,358	-
固定資産売却損益 (△は益)	-	△14,847
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△710,492
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,156	-
固定資産除却損	1,993	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△156,489	31,319
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,781	△59,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,556	△207,015
未払金の増減額 (△は減少)	△347,241	3,446
その他	14,931	△78,471
小計	△368,071	△528,882
利息及び配当金の受取額	383	6,022
利息の支払額	△22,388	△58,807
法人税等の支払額	△17,895	△117,224
法人税等の還付額	-	25,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△407,972	△673,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,000	-
定期預金の払戻による収入	25,000	-
有形固定資産の取得による支出	△27,314	△8,795
有形固定資産の売却による収入	-	409,428
無形固定資産の取得による支出	△39,797	△94,526
貸付けによる支出	△475,000	△446,522
貸付金の回収による収入	3,588	-
投資有価証券の取得による支出	-	△243,773
投資有価証券の売却による収入	30,166	-
保険積立金の積立による支出	△9,993	-
保険積立金の解約による収入	643,708	-
事業譲受による支出	△120,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△971,834	△1,239,963
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	1,007,086
その他	229	△12,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966,248	△629,334

(単位：千円)		
	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,000	300,229
長期借入れによる収入	1,001,036	1,160,000
長期借入金の返済による支出	△237,233	△432,841
リース債務の返済による支出	△1,268	△1,924
社債の発行による収入	292,925	-
社債の償還による支出	△30,000	△60,000
株式の発行による収入	299,818	293,791
上場関連費用の支出	△16,481	-
その他	1,395	46,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305,193	1,305,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△69,055	3,037
現金及び現金同等物の期首残高	613,054	543,999
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	142,582
現金及び現金同等物の期末残高	543,999	689,619

(訂正後)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	115,419	△87,340
減価償却費	24,846	50,996
減損損失	-	304,589
事業撤退損	-	26,390
のれん償却額	53,678	161,719
繰延資産償却額	5,383	7,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△331	1,403
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,669	△8,885
受取利息及び受取配当金	△3,451	△6,022
支払利息	21,474	56,280
為替差損益 (△は益)	△101	-
保険解約返戻金	△40,358	-
固定資産売却損益 (△は益)	-	△14,847
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△710,492
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,156	-
固定資産除却損	1,993	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△156,489	31,319
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,781	△59,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,556	△207,015
未払金の増減額 (△は減少)	△347,241	3,446
その他	14,931	△81,196
小計	△368,071	△531,606
利息及び配当金の受取額	383	6,022
利息の支払額	△22,388	△58,807
法人税等の支払額	△17,895	△117,224
法人税等の還付額	-	25,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△407,972	△676,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
定期預金の預入による支出	△25,000	—
定期預金の払戻による収入	25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△27,314	△8,795
有形固定資産の売却による収入	—	409,428
無形固定資産の取得による支出	△39,797	△94,526
貸付けによる支出	△475,000	△446,522
貸付金の回収による収入	3,588	—
投資有価証券の取得による支出	—	△243,773
投資有価証券の売却による収入	30,166	—
保険積立金の積立による支出	△9,993	—
保険積立金の解約による収入	643,708	—
事業譲受による支出	△120,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△971,834	△1,237,239
連結範囲の変更を伴う子会社の取得による収入	—	142,582
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,007,086
その他	229	△12,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△966,248	△484,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,000	300,229
長期借入れによる収入	1,001,036	1,160,000
長期借入金の返済による支出	△237,233	△432,841
リース債務の返済による支出	△1,268	△1,924
社債の発行による収入	292,925	—
社債の償還による支出	△30,000	△60,000
株式の発行による収入	299,818	293,791
上場関連費用の支出	△16,481	—
その他	1,395	46,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305,193	1,305,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△69,055	145,619
現金及び現金同等物の期首残高	613,054	543,999
現金及び現金同等物の期末残高	543,999	689,619

3. 業績への影響について

上記の関係会社株式評価損は当社の個別決算のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、2026年3月期の連結業績に与える影響はありません。

以上